

氏名	瀧川 智子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 号
学位授与の日付	平成16年3月25日
学位授与の要件	医学研究科社会医学系公衆衛生学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	The Current State of Workers' Pneumoconiosis in Relationship to Dusty Working Environments in Okayama Prefecture, Japan (岡山県の粉じん作業場におけるじん肺発生状況)
論文審査委員	教授 川上 憲人 教授 谷本 光音 教授 谷崎 勝朗

学位論文内容の要旨

近年でもじん肺は毎年1000例以上の新たな発症がある。今回は粉じん作業場での作業環境の実態と作業者の胸部レントゲン所見との関連を調べ、じん肺の現状把握と発症予防に資することを目的として調査を行った。まず、最近じん肺健診を受診した粉じん作業者の胸部レントゲン写真1006枚を岡山県の地方じん肺診査医が再読影し結果を解析した。次に岡山県下の粉じん作業を行っている12事業場の作業者30名を対象とし、個人曝露粉じん濃度の測定、粉じん作業時間と作業年数、マスクの着用状況等に関する聞き取りを行った。環境測定では、石材加工業、耐火物粉砕業に比べ船舶溶接業の作業場で吸入性・総粉じん濃度とも高値を示した。レントゲン所見との関係をみると、粉じん濃度とPRとの関係では相関は低く、むしろ作業年数とPRとの相関の方が高かった。また40歳以下の若年作業者にもPR 1/0以上の症例が見られ、作業場の環境改善や適正なマスク着用の指導等の必要性が示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、岡山県における粉じん作業者のじん肺検診における境界域の所見（PR 0/1）の頻度を業種ごとに調査し、またここから抽出された作業者の粉じん暴露歴とじん肺所見の関係について解析を行ったものであり、産業保健学の課題の解決に寄与する価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。